

令和8年度の主な施策(抜粋)

令和8年度予算の詳細は、埼玉県ホームページをご参照ください。↓



持続可能なまちづくりと経済成長の実現

■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出…4億3,343万7千円



一部新「渋沢MIX」の運営、共創プログラムの実施、アクセラレーションプログラムの実施、大学生向け起業伴走プログラム等の実施、新海外との連携促進(県内企業と海外企業との協業につなげるための海外支援機関等と連携したピッチイベントやセミナーの開催及び随時のフォローアップの実施)、他

■サーキュラーエコノミー(CE)の推進…3億6,746万9千円



一部新「CE型ビジネスモデルの創出・転換支援(CE推進センター埼玉の運営支援、CE推進分科会員と連携した事業者・県民への普及啓発、スタートアップ企業ビジネスプランコンテスト開催等)、新金融機関と連携したCE普及促進強化(金融機関向けセミナー・研修の実施等)、新産業団地を核としたCE推進(産業団地を中心とした企業マッチングの推進)、他

■埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進…19億7,793万6千円



新ビジネスピッチの実施(従来のガバメントピッチに加え、まちづくりに役立つ優れた技術やサービスを企業等から市町村に提案する場を新たに創出し、伴走支援を実施することでマッチングを強化)、新都市計画基礎調査などの客観的データ分析、他

県内全63市町村のプロジェクト参加が決定しています。

■人手不足への対応…1億6,595万5千円
【うち、令和7年度2月補正予算:6,331万6千円】

新若者と県内中小企業とのマッチング機会の創出、新シニア人材と県内中小企業をつなぐ埼玉モデルの推進(「埼玉県シニア人材バンク」を構築し、シニア人材と県内中小企業とのマッチングを支援)、新シニア人材活用により賃上げ環境整備に取り組む県内中小企業への支援、新県内企業による留学生等外国人材の確保支援(県内企業の外国人材活用を支援するため、人材確保に向けた情報発信や外国人留学生インターンシップを創設)、他

■生産性向上や賃上げ環境の整備等への支援…54億1,042万3千円
【令和7年度2月補正予算】

- 新中小企業の省力化支援(20億7,584万円)
 - 補助率:2/3(賃上げを行った場合4/5)
 - 補助対象事業費:1,500万円
- 新新技術・新製品開発への支援(9億663万2千円)
 - 補助率:2/3(小規模事業者3/4)
 - 補助対象事業費:中堅企業 1億円/中小企業 3,000万円/小規模事業者 3,000万円
- 新福祉施設に対する支援(10億4,130万円)
 - 障害者就労施設
 - 対象:事業所の生産活動に使用する設備導入費等
 - 補助率:10/10
 - 補助対象事業費:設備導入 1,000万円/拠点整備 3,000万円
 - 介護施設
 - 対象:業務効率化を目指す施設の介護機器等の導入費用(見守り機器、インカム等)
 - 補助率:4/5
 - 補助対象事業費:1施設(定員70人の場合)2,660万円
- 新医療施設に対する支援(13億8,665万1千円)
 - 補助率:2/3
 - 補助対象事業費:役割に応じ2,000~5,000万円

「こどもまんなか社会」の実現

■こども版 彩の国だより発信…1,504万9千円

新「こども版彩の国だより」の発行(こどもに県の施策を分かりやすく届け、アンケート等を活用して、県の施策についてのこどもの意見を聴く)、他

■保育士になる夢を後押し…2,971万1千円

新中学生・高校生に保育士を目指してもらうため、保育士養成校、保育所等と連携し夏休みに職場体験を実施、他



～歴史的課題への挑戦～

■私立学校父母負担軽減補助の拡充…342億2,601万7千円

区分	世帯年収(目安)	補助上限
授業料	拡所得制限なし	457,200円
入学金	拡~500万円	223,000円
	500万円~609万円	100,000円
施設費等	~500万円	200,000円

■児童養護施設等職員の確保・定着…2,136万9千円

新就職準備金貸付を行う児童養護施設等への貸付(20万円または30万円)、新奨学金返還支援を行う児童養護施設等への補助(上限18万円/年・最長5年間)、心理カウンセラー等による巡回相談等のメンタルヘルス対策を実施、他

■学校体育館等における空調整備…36億4,029万7千円

■全ての県立学校の空調整備を実現(新県立学校の体育館(目標:防災拠点校=令和8年度、特別支援学校=令和12年度、防災拠点校以外の県立高校=令和15年度)、新選択・特別教室の空調整備(目標:令和15年度)、新保護者負担で整備された教室等の空調設備について、設置費及び維持管理費を補助)、他

■特別支援学校の整備…27億3,241万6千円

新県立大宮北特別支援学校の校舎全面改築及び県立浦和特別支援学校の校舎一部改築、新県立上尾かしの木特別支援学校の校舎増築、新県立川口特別支援学校のプール設置、他

更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

■中小企業等の更なるDXの推進…29億9,459万円
【令和7年度2月補正】

新県内中小企業等のDX推進(県内5地域でDXツールを実体験できる展示会を実施、DXツールの導入により生産性向上に取り組む県内中小企業等に導入経費を補助)、新商工団体のDX推進(DXの推進に係る経費を補助)、新県内8地域の商工会議所に中小企業診断士を「経営サポーター」として配置、他

■学校DXの更なる推進…2億2,053万1千円

新次世代校務支援システム構想策定・設計(全県立学校へ導入(令和10年度稼働予定))、新リアルタイム学習支援アプリの導入(全県立高校、中学校へ導入(令和8年度導入予定))、新ラーニングマネジメントシステムの導入(通信制高校においてレポートの提出や学習状況の確認をオンラインで実施可能なシステムを導入)

～「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現～

県民の安心・安全の確保

■警察活動の強化…5億1,419万6千円

新警察官175人の増員(警察官条例定数11,699人→11,874人、配分人数全国一位)、新スマートフォン及び防犯ビデオカメラ映像の解析機器等の充実による匿名・流動型犯罪グループ及び外国人犯罪対策の強化、他

■介護・医療人材の確保…2億4,627万9千円

新介護人材の確保(奨学金返還を支援する介護事業所等に対する補助(上限18万円/年、最長5年間)、他)、新看護人材の確保(奨学金返還支援を行う医療機関に対する補助(上限18万円/年、最長5年間)、潜在看護師の復職後の就業環境整備・就業支援金等の支給を実施する医療機関に対する補助、他)、新医師不足地域等の医師確保促進(特定地域の公的医療機関の特定診療科へ医師派遣を行う医療機関に対する補助、他)

儲かる農林業の推進

■新規就農者の確保…5,227万円

新既存樹園地を研修用樹園地として活用するための樹園地利用意向調査・就農希望者の掘り起こし、新既存樹園地を活用した果樹栽培に必要な技術習得のための研修指導や研修用樹園地の整備、他

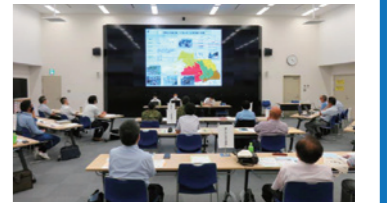
■デジタルで変わる未来の県庁…2億6,432万1千円

新申請手続のデジタル完結化、新申請・相談のデジタルサポート(RAGを活用した生成AI等により、自宅等からの申請・相談をサポート)、新デジタルを活用した多様な働き方の実現(機能別オフィスで職員の多様な働き方を実現、AI窓口で来庁者を効率的に案内(川越)、本庁機能の一部移転を試行(熊谷))

激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化…1億1,328万4千円

新シナリオの新規作成やブラッシュアップを繰り返す埼玉版FEMA訓練を全庁で実施(30回、延べ約950機関、参加予定人数約2,800人)、新危機・災害に的確に対応できる防災人材を育成(対象者約9,200人(県職員等))、新危機・災害対応の標準化のため、埼玉版FEMAプロトコルを策定中、他



埼玉版FEMA図上訓練の様子

■次なる感染症に備えたDX体制強化…9,020万1千円

新検査業務管理システムの構築(衛生研究所に検査業務管理システムを構築し、検体情報や検査結果の入力、検査成績書の発行を自動化し効率化を実現)、新患者管理システムの構築(感染症患者管理業務を自動化し効率化を実現)、他

■八潮市道路陥没事故を踏まえた下水道管路の老朽化対策…48億8,310万円【流域下水道事業会計】



新下水道管路のリダンダンシーの確保(中川流域中央幹線下流部の複線化工事に着手)、新下水道管の破損及び道路陥没への対応(復旧工事を進めるとともに周辺住民・事業者へ必要な補償等を実施)、新全国特別重点調査の結果を踏まえた対策の推進(下水道管路の改築工事等)、他

破損した下水道管の代わりに敷設した新しい下水道管(鋼製セグメント)

■アグリテックによる栽培・生産技術の向上…5,330万円

新AIを活用した「あまりん」の高品質栽培を可能とする汎用化技術の確立・生産者のほ場に合った栽培方法を改善提案できるシステムの開発、新「あまりん」の高品質栽培モデル研究体制構築に向けた研究用ハウスを整備、他



あまりん

■県産木材の利用促進…4億9,937万2千円

新「活樹」推進に向けた社会的備蓄として活用可能な移動木造応急住宅の整備及び新たな県産木材利用モデルとしての発信、新新たな流通体制の構築に向けた実行性調査及び事業構想の立案、新「活樹」や森林の循環利用の意義について県民理解を深めるイベント開催や森林保全活動体験等の実施、他

豊かな自然と共生する社会の実現

■ネイチャーポジティブ(自然再興)の推進…5億6,038万8千円

■ネイチャーポジティブ分科会における交流会開催・マッチング等、企業主体の官民連携実践モデルの構築、新地域課題等を踏まえた市町村の戦略的取組の支援(クビアカツヤカミキリ対策の強化)、身近な緑の保全と創出、希少野生動物の保全、特定外来生物の防除、ニホンジカ等の野生鳥獣の管理、新渡良瀬遊水地周辺のイノシシ生息状況調査の実施、新ペーパーハンター向け狩猟体験・学習の実施、他